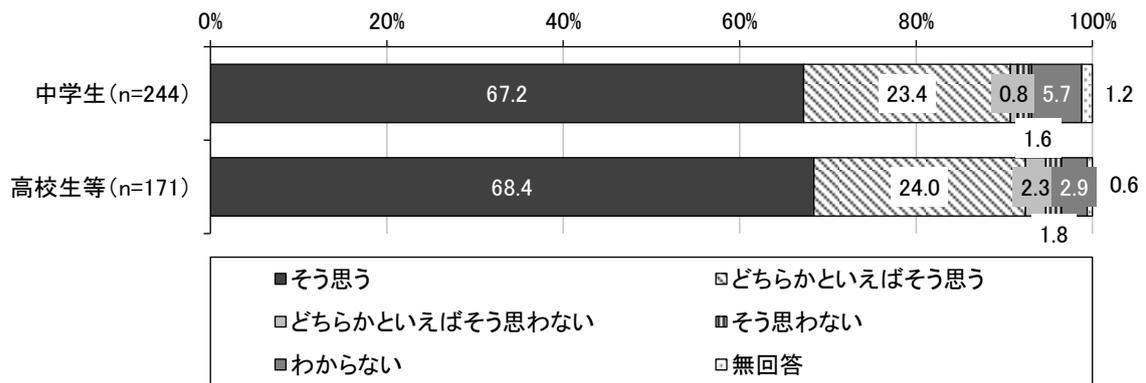


VI 調査間比較

■あなたは、自分自身についてどのように感じていますか。(○はそれぞれ1つ)

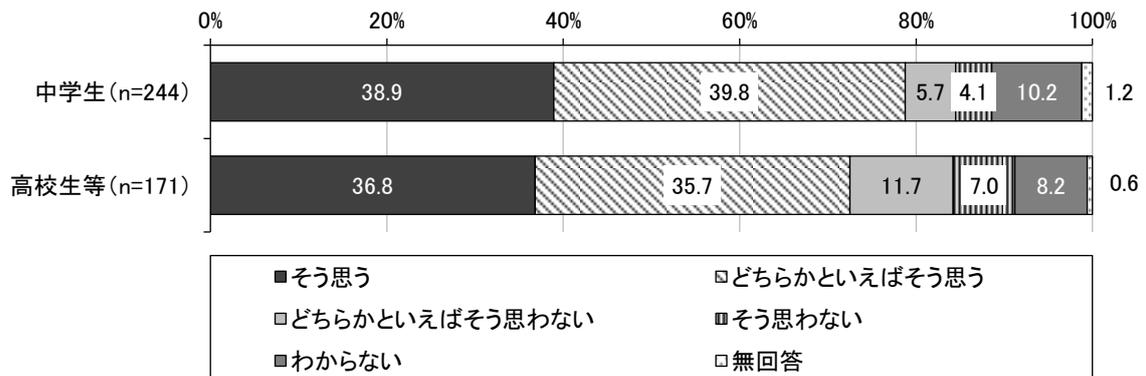
① 自分を大切に思ってくれる人がいる

自分を大切に思ってくれる人がいると感じているかについてを比較すると、“そう思う”がいずれも9割を超えており、大きな差は見られません。



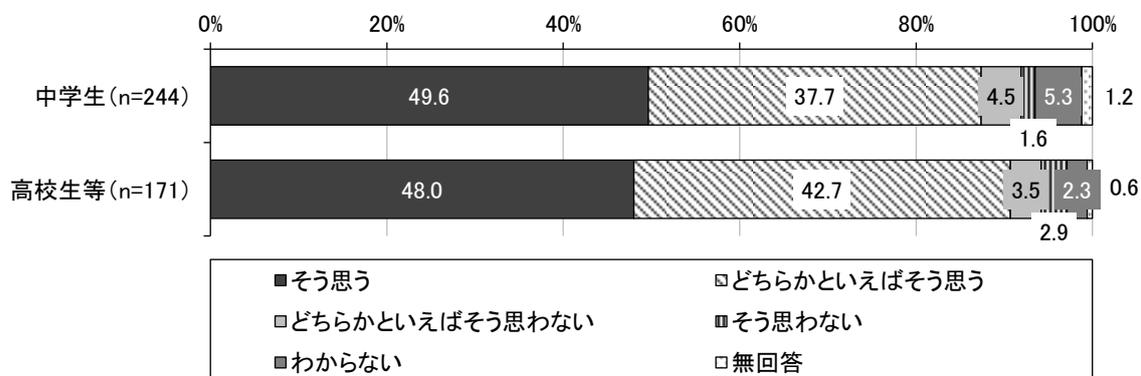
② 自分は人から必要とされている

自分は人から必要とされていると感じているかについてを比較すると、“そう思う”が高校生等で72.5%、中学生で78.7%と中学生が高校生等を6.2ポイント上回っています。



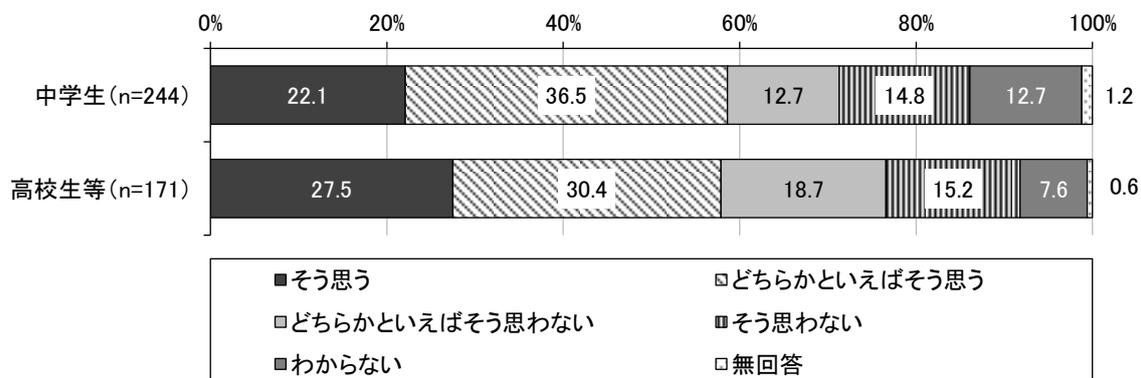
③ ほかの誰かや社会のために、何かをしてあげたい

ほかの誰かや社会のために、何かをしてあげたいと感じているかについてを比較すると、“そう思う”が高校生等で90.7%、中学生で87.3%と大きな差は見られません。



④ 自分のことが好き

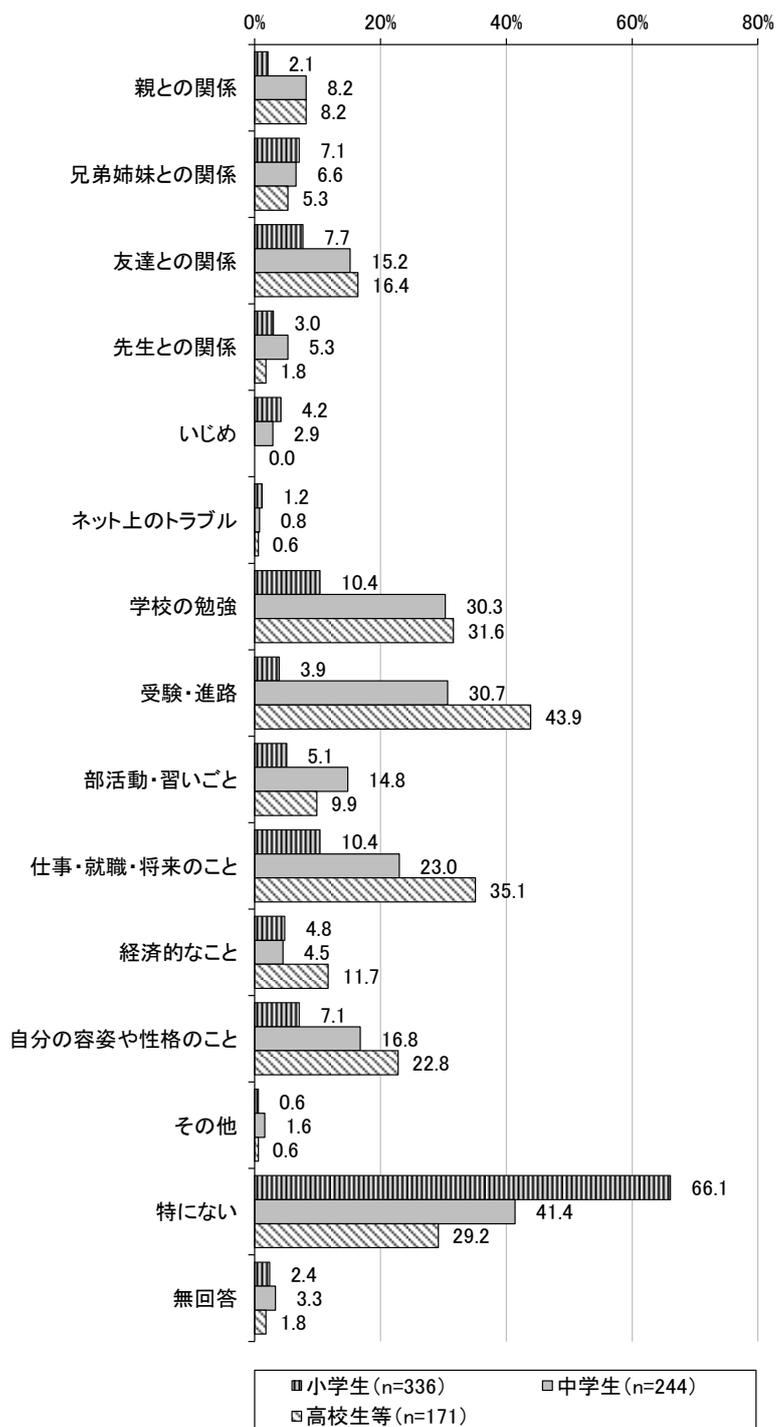
自分のことが好きと感じているかについてを比較すると、“そう思わない”が高校生等で33.9%、中学生で27.5%と高校生等が中学生を6.4ポイント上回っています。また、中学生で「わからない」が12.7%とやや割合が高くなっています。



■あなたは、普段の生活の中で何か困りごとや悩みごとはありますか。(〇はいくつでも)

普段の生活の中での困りごとや悩みごとについては、小学生・中学生では「特にない」、高校生等では「受験・進路」がそれぞれ最も多くなっています。

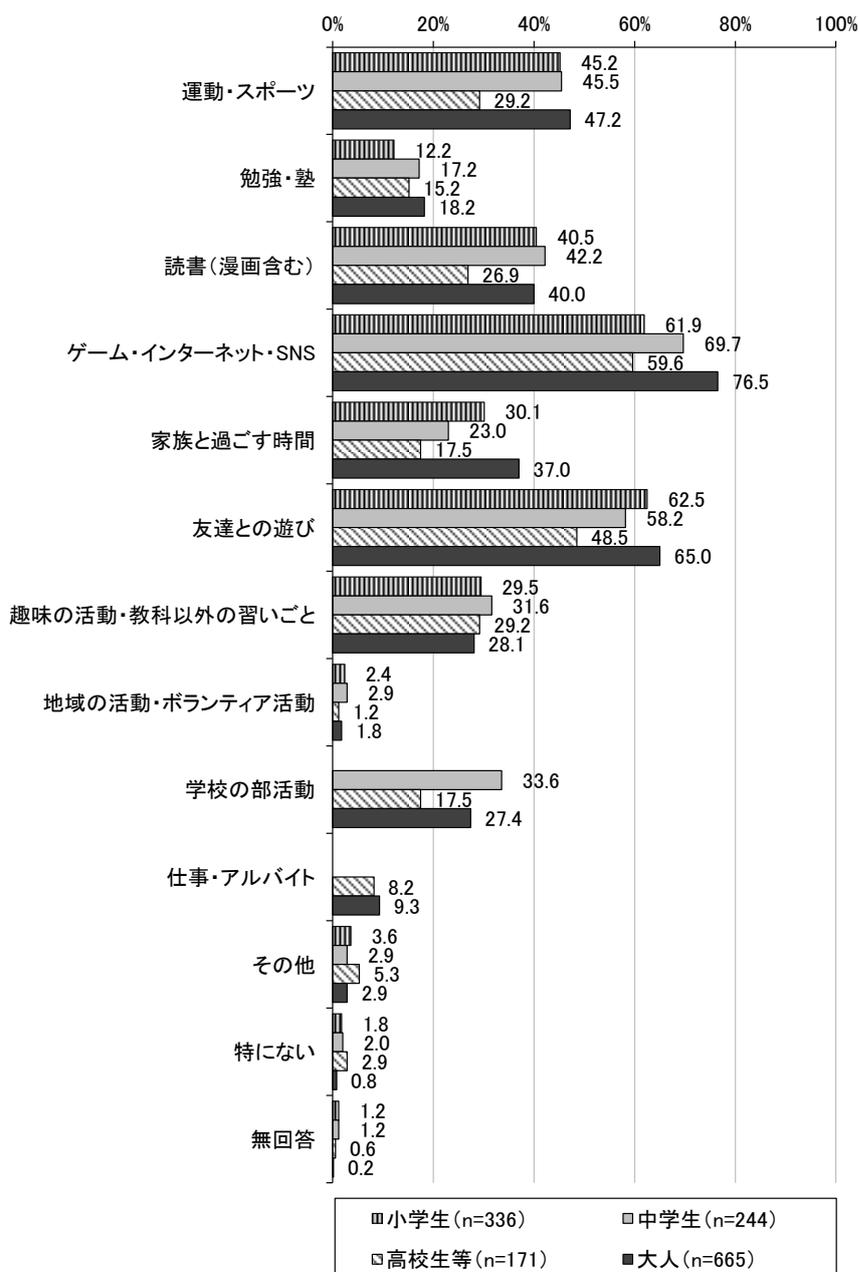
また、年齢が高くなるほど、「学校の勉強」、「受験・進路」、「仕事・就職・将来のこと」、「自分の容姿や性格のこと」への回答が高くなる傾向となっています。



■あなた（あなたのお子さん）が、今夢中になれることは何ですか。（○はいくつでも）

夢中になれることについては、小学生で「友達との遊び」、それ以外の調査で「ゲーム・インターネット・SNS」が最も多くなっています。

また、「運動・スポーツ」、「読書（漫画含む）」、「友達との遊び」では、大人と小学生・中学生の回答割合に差が見られませんが、高校生等でやや低くなっています。また、「家族と過ごす時間」は大人で約4割となっているものの、中学生と高校生等で約2割、小学生で約3割と若干ですが差が見られます。

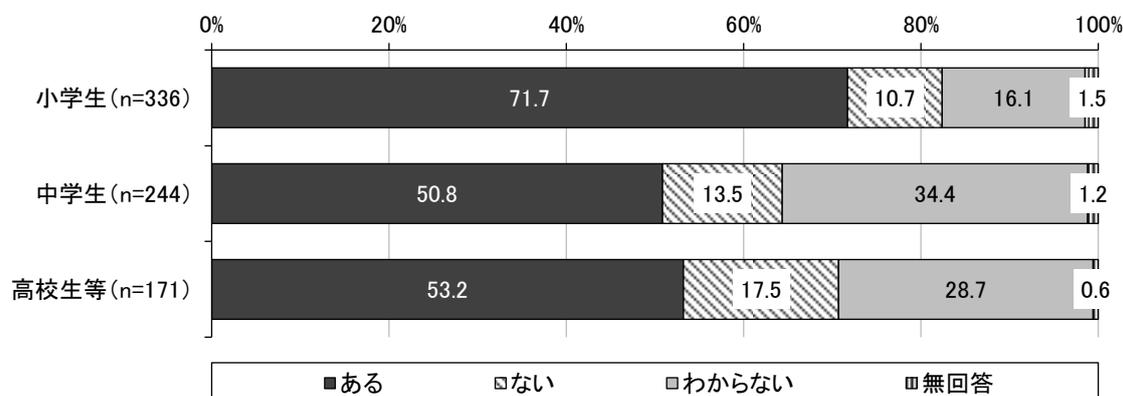


*「学校の部活動」は中学生・高校生等・大人、「仕事・アルバイト」は高校生等・大人のみを選択肢です。

■あなたは、将来なりたいものはありますか。(○は1つ)

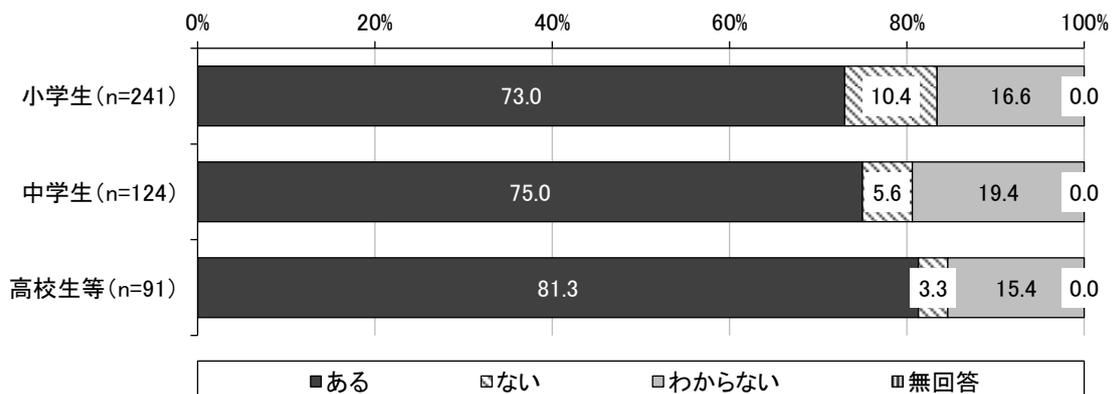
将来なりたいものについては、「ある」が小学生で7割台、中学生と高校生等で5割台と、小学生が約20ポイント上回っています。

また、中学生と高校生等では「わからない」が2割台から3割台と小学生に比べて割合が高くなっています。



■あなたは、将来なりたいもののために、努力していることはありますか。(○は1つ)

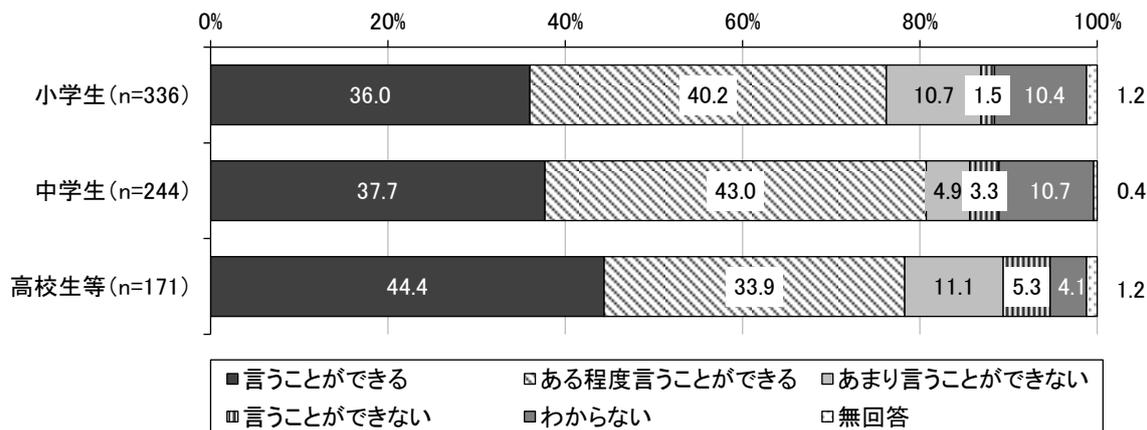
将来なりたいもののために、努力していることがあるかについては、「ある」が高校生等で81.3%と、小学生・中学生に比べて5ポイント以上高くなっています。



■あなたは、次のことについて自分の考えや思いがあるときに、それを言うことができますか。(○はそれぞれ1つ)

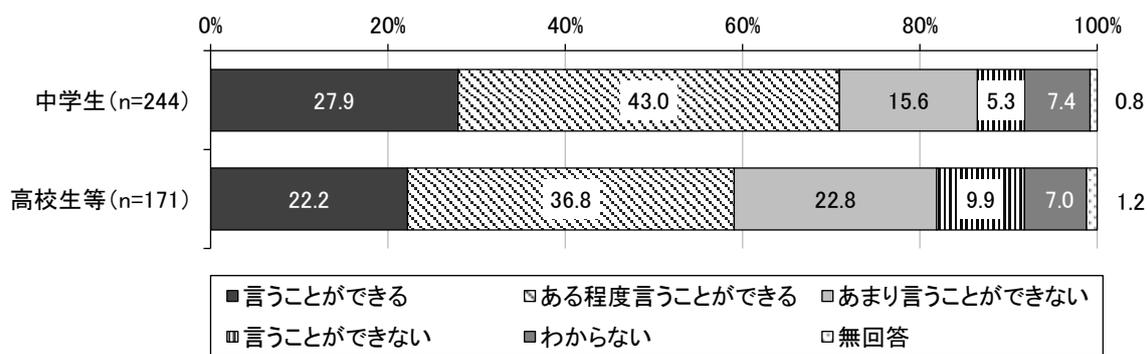
① 家庭における大事な物事やルールについて

家庭における大事な物事やルールについて、自分の考えや思いを言うことができるかを比較すると、“言うことができる”が小学生で76.2%、中学生で80.7%、高校生等で78.3%と、大きな差は見られません。



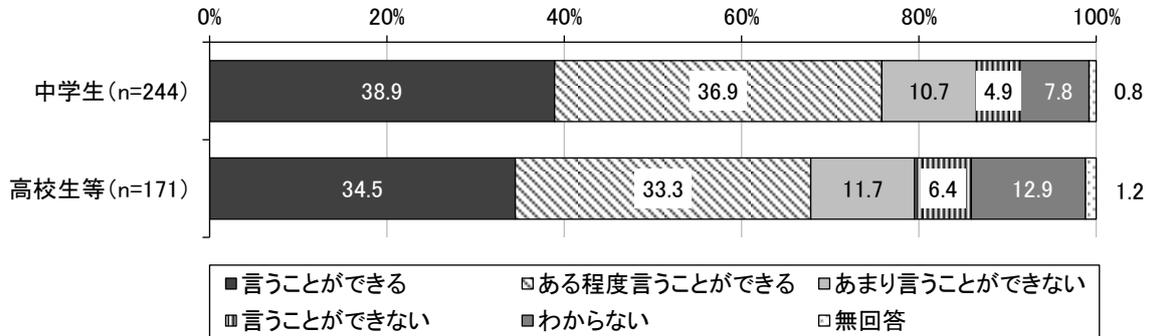
② 学校行事・イベントの企画や運営について

学校行事・イベントの企画や運営について、自分の考えや思いを言うことができるかを比較すると、“言うことができる”が中学生で70.9%、高校生等で59.0%と、中学生が高校生等を11.9ポイント上回っています。



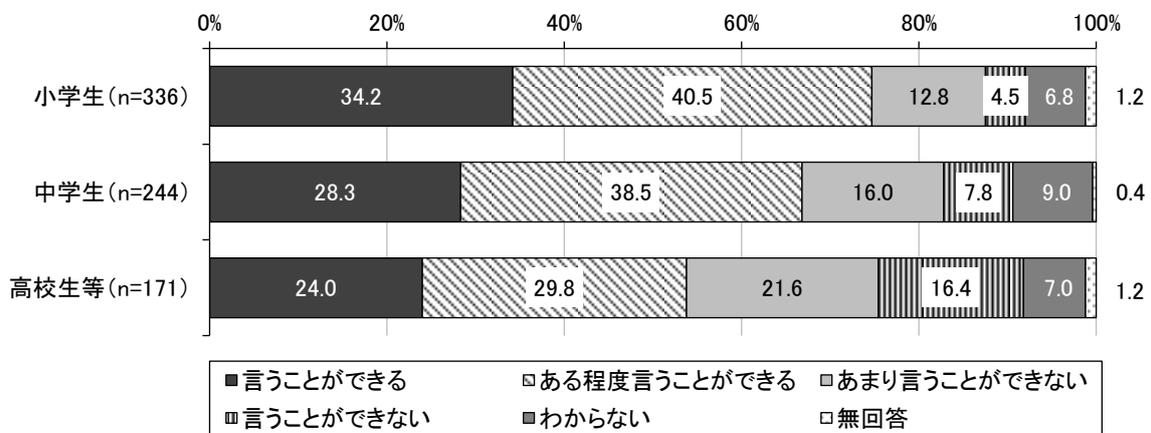
③ 学校の部活動の活動内容について

学校の部活動の活動内容について、自分の考えや思いを言うことができるかを比較すると、“言うことができる”が中学生で75.8%、高校生等で67.8%と、中学生が高校生等を8ポイント上回っています。



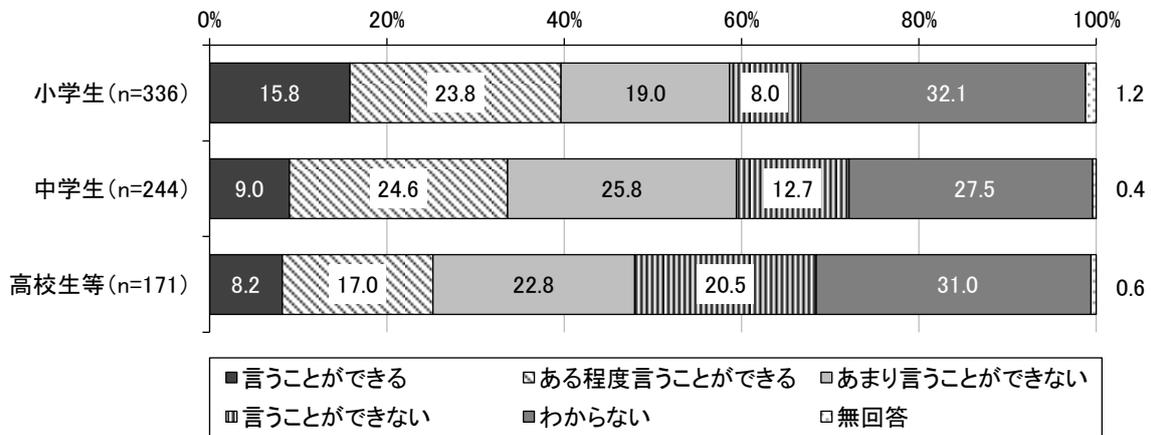
④ 学校の決まりごとについて

学校の決まりごとについて、自分の考えや思いを言うことができるかを比較すると、“言うことができる”が小学生で74.7%、中学生で66.8%、高校生等で53.8%と小学生で7割を超えています。また、高校生等で“言うことができない”が38.0%と他の調査に比べて割合が高くなっています。



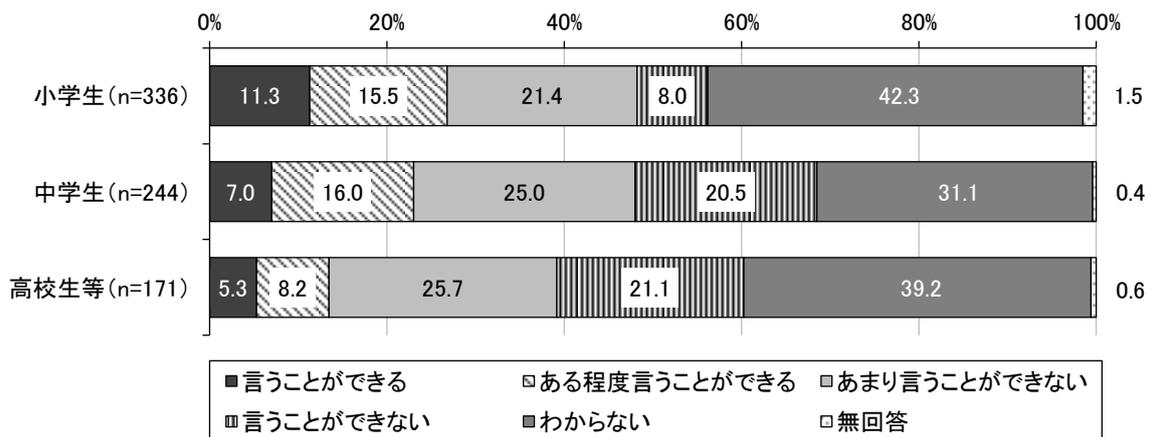
⑤ 地域で行われている行事などの取組について

地域で行われている行事などの取組について、自分の考えや思いを言うことができるかを比較すると、“言うことができる”が小学生で39.6%、中学生で33.6%、高校生等で25.2%と小学生と中学生で3割台となっています。また、高校生等で“言うことができない”が43.3%と他の調査に比べて割合が高くなっています。



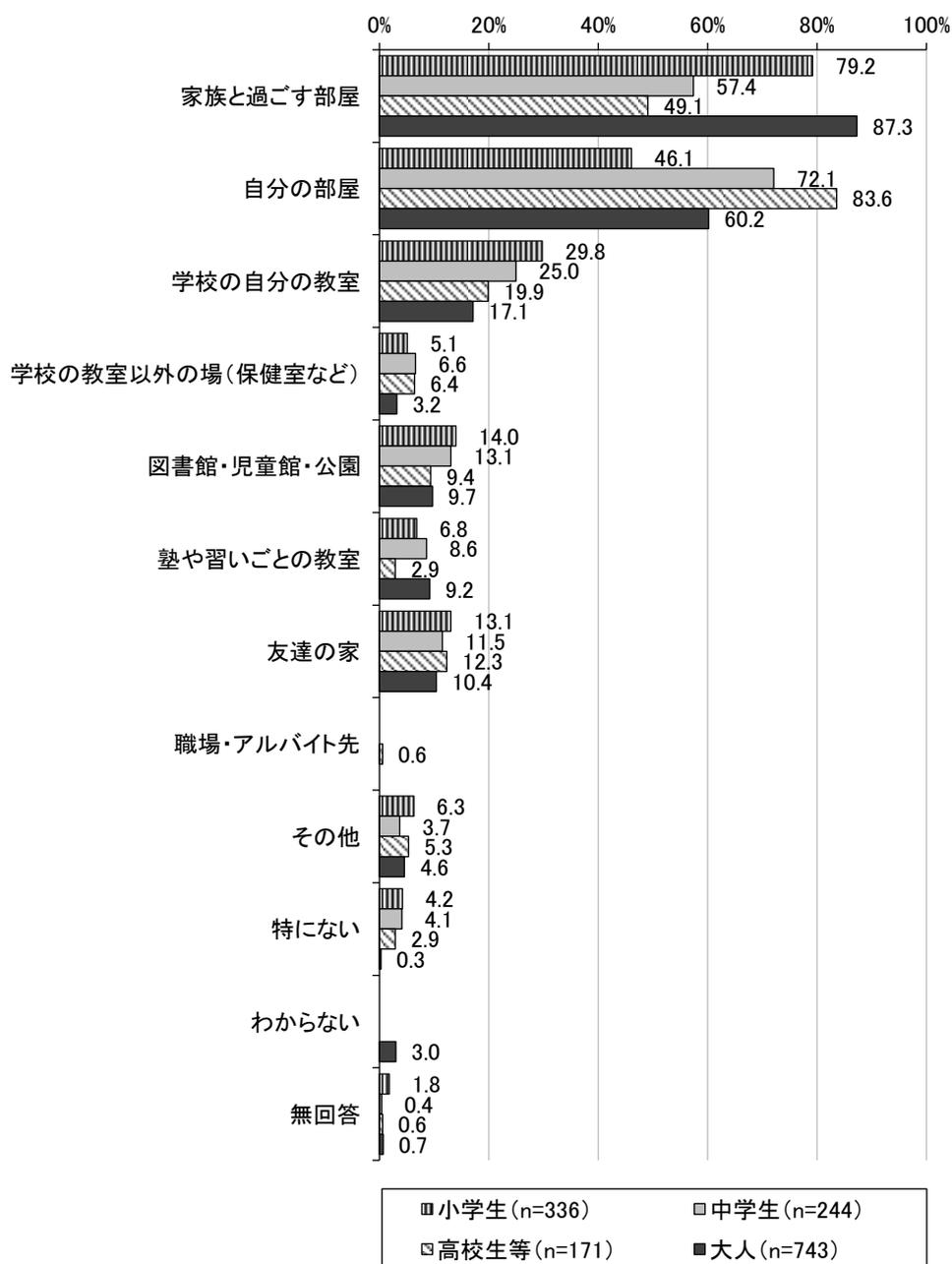
⑥ 北本市政（北本市のまちづくりや市役所の仕事）について

北本市政（北本市のまちづくりや市役所の仕事）について、自分の考えや思いを言うことができるかを比較すると、“言うことができる”が小学生で26.8%、中学生で23.0%、高校生等で13.5%と小学生と中学生で2割台となっています。また、中学生と高校生等で“言うことができない”が4割台と小学生に比べて割合が高くなっています。さらに、「わからない」が小学生と高校生等で約4割となっています。



■あなたが、普段の生活の中で、ホッとでき、安心していただける場所はどこだと感じていますか。(〇はいくつでも)

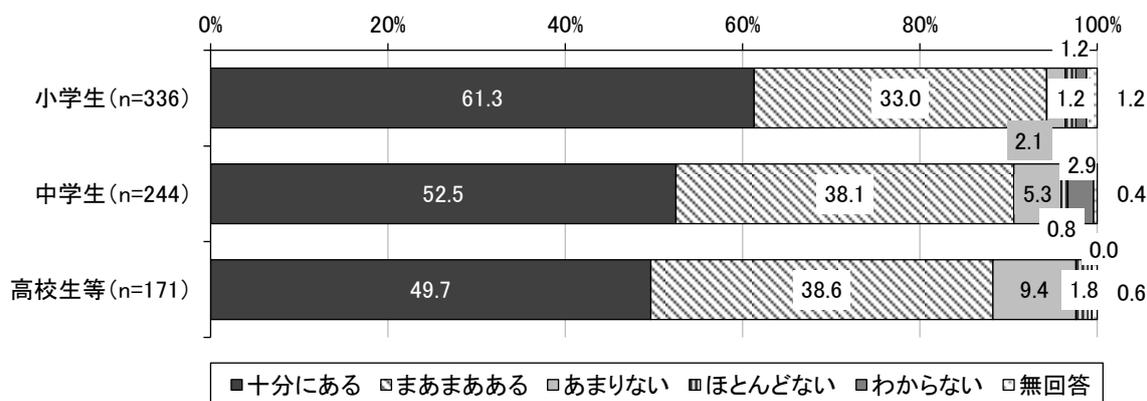
普段の生活の中で、ホッとでき、安心していただける場所については、大人と小学生では「家族と過ごす部屋」、中学生と高校生等では「自分の部屋」がそれぞれ最も多くなっています。また、小学生では「学校の自分の教室」が約3割と他の調査に比べて割合が高くなっています。



*「職場・アルバイト先」は高校生等、「わからない」は大人のみを選択肢です。

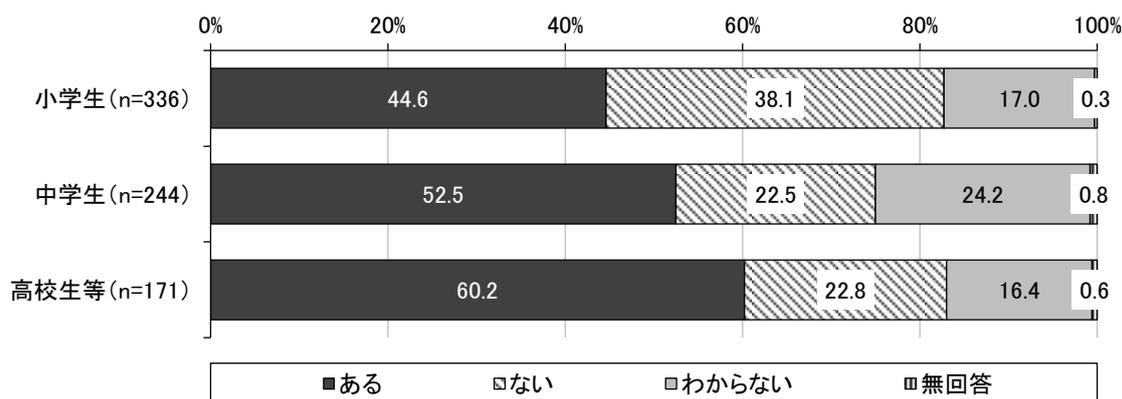
■ 普段の生活の中で、遊び、休息など、自分の好きなことをする時間や場所が十分にあると思いますか。(○は1つ)

普段の生活の中で、遊び、休息など、自分の好きなことをする時間や場所については、“ある”が小学生で94.3%、中学生で90.6%、高校生等で88.3%と大きな差は見られません。一方で、「あまりない」が高校生等で約1割と他の調査に比べて割合が高くなっています。



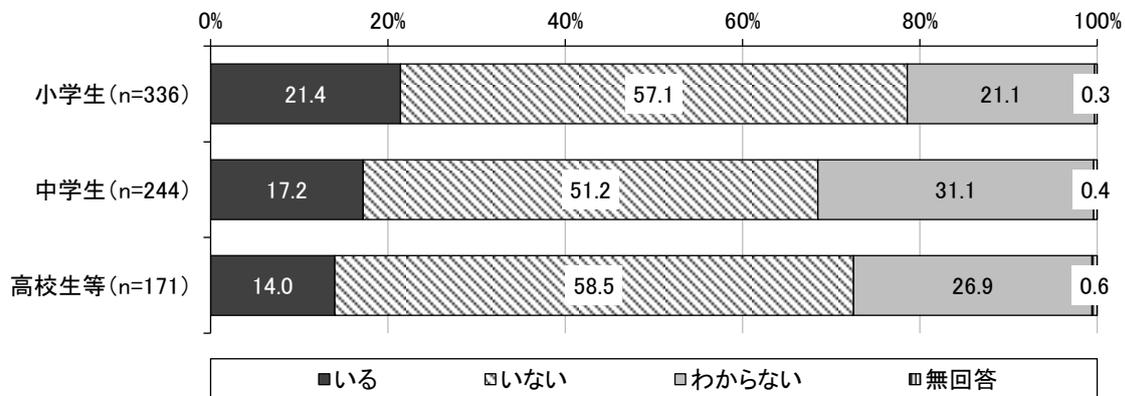
■ あなたは、これまで、人からされたことで「とてもいやな思い」をしたことがありますか。(○は1つ)

人からされたことで、「とても嫌な思い」をしたことがあるかについては、「ある」が小学生で44.6%、中学生で52.5%、高校生等で60.2%と最も多く、年齢が上がるにつれて割合が高くなる傾向にあります。



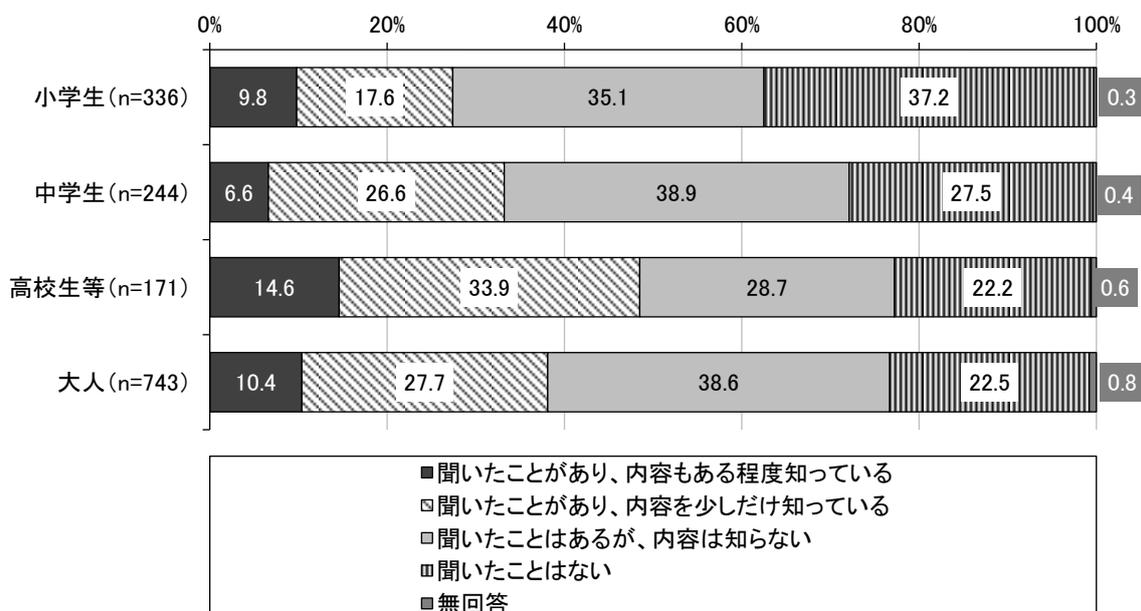
■あなたを、言葉や力で傷つける人はいますか。(○は1つ)

言葉や力で傷つける人がいるかについては、いずれの調査でも「いない」が最も多くなっているものの、小学生で「いる」が21.4%と他の調査に比べて割合が高くなっています。



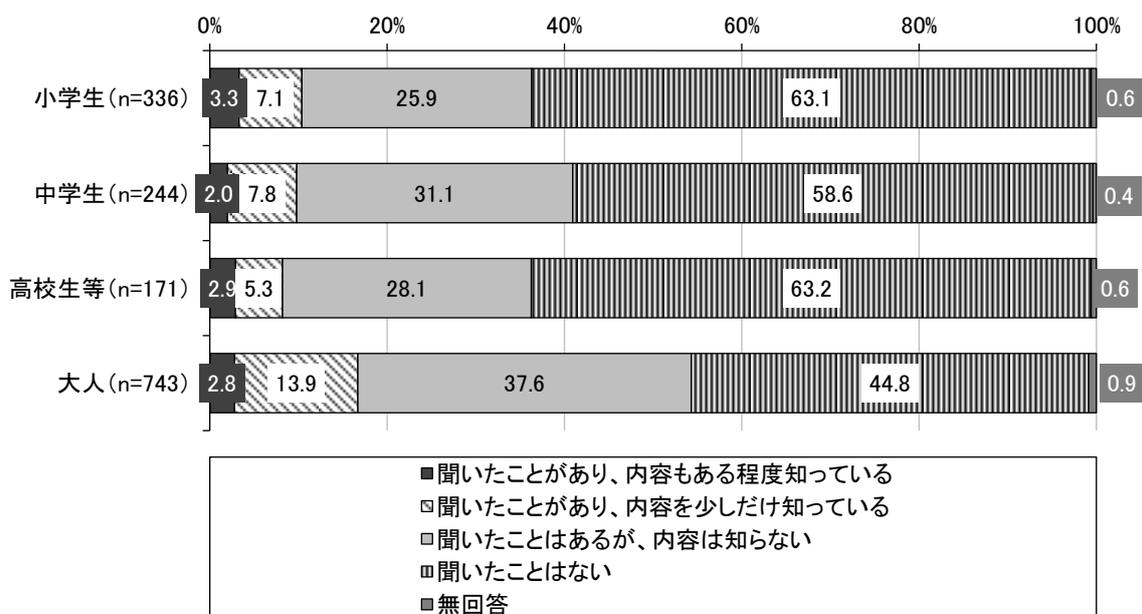
■あなたは、「子どもの権利」について聞いたことがありますか。また、内容をどの程度知っていますか。(○は1つ)

「子どもの権利」について聞いたことがあるかについては、「内容を知っている」が高校生等で48.5%と他の調査に比べて割合が高くなっています。また、年齢が下がるにつれて「聞いたことはない」の割合が高くなる傾向にあります。



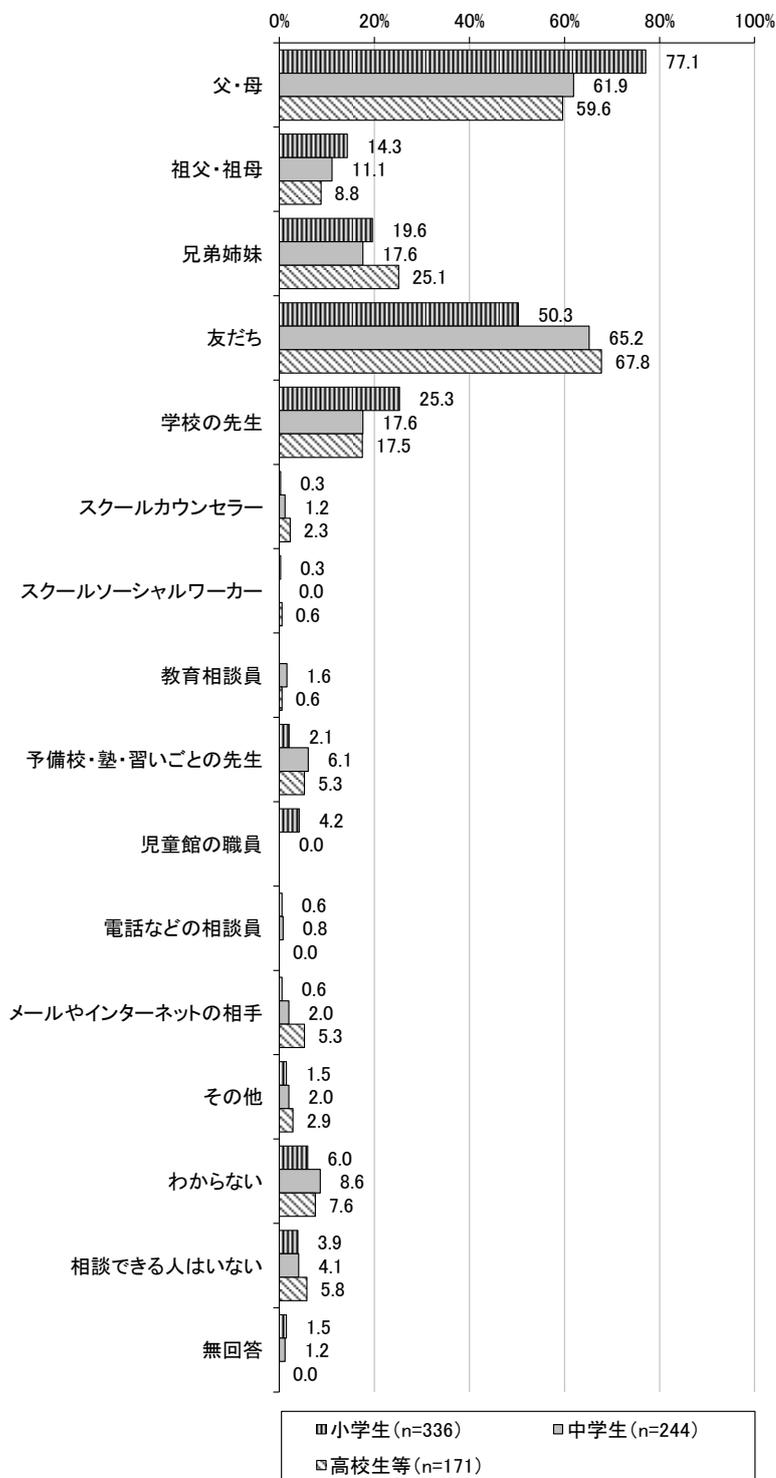
■あなたは、北本市が令和3年度に制定した「子どもの権利条例」について聞いたことがありますか。また、内容をどの程度知っていますか。(○は1つ)

北本市が令和3年度に制定した「子どもの権利条例」について聞いたことがあるかについては、いずれの調査でも「聞いたことはない」が最も多くなっており、小学生と高校生等では6割台となっています。一方、“内容を知っている”は大人で16.7%と他の調査に比べて割合が高くなっています。



■あなたは、悩みごとを誰に相談しますか。(○はいくつでも)

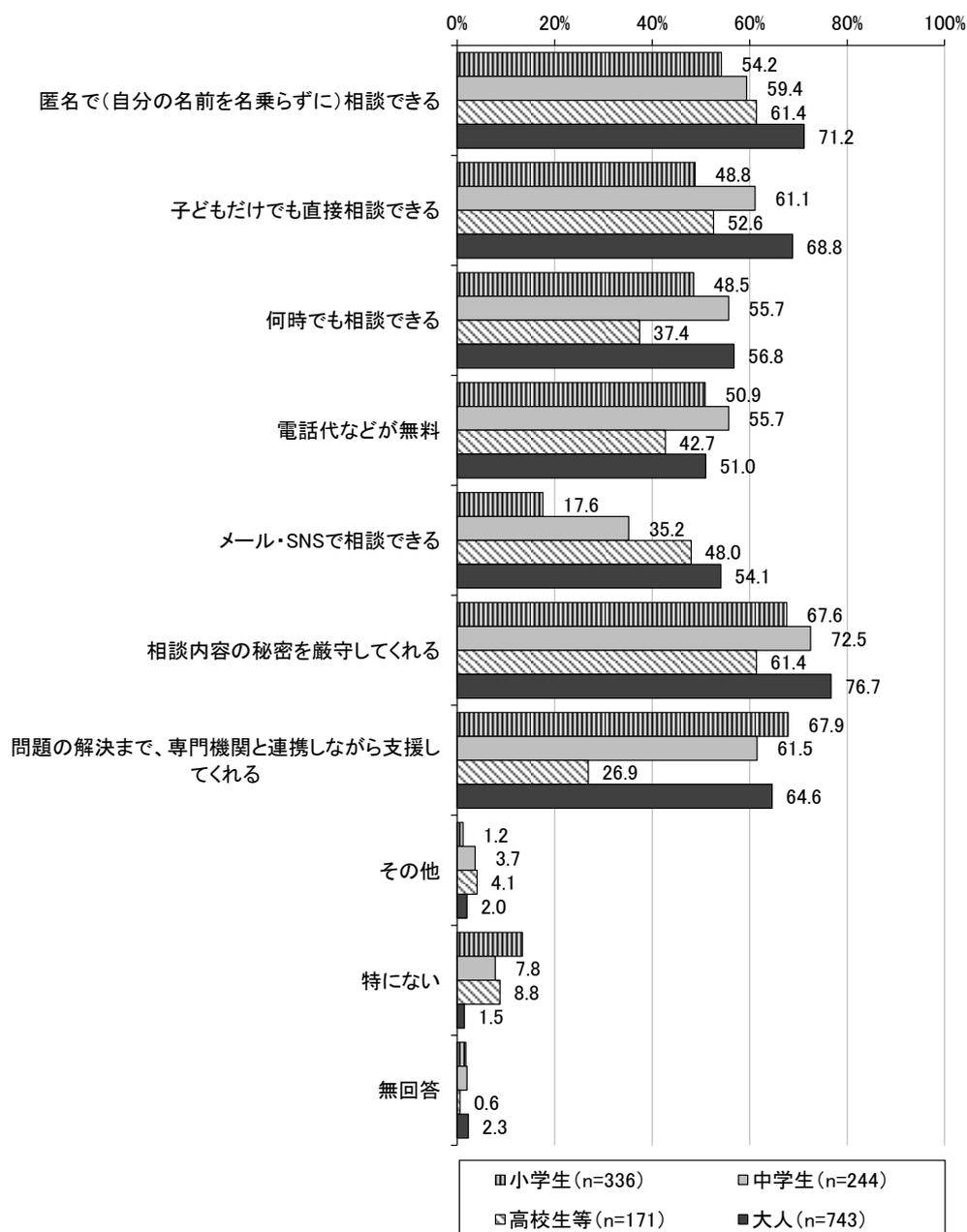
悩みごとの相談相手については、小学生で「父・母」、中学生と高校生等で「友だち」がそれぞれ最も多くなっています。また、年齢が上がるにつれて「父・母」の割合が低く、「友だち」の割合が高くなる傾向にあります。



*「児童館の職員」は小学生・中学生、「教育相談員」は中学生・高校生等のみの選択肢です。

■あなたが相談するときに大事だと思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

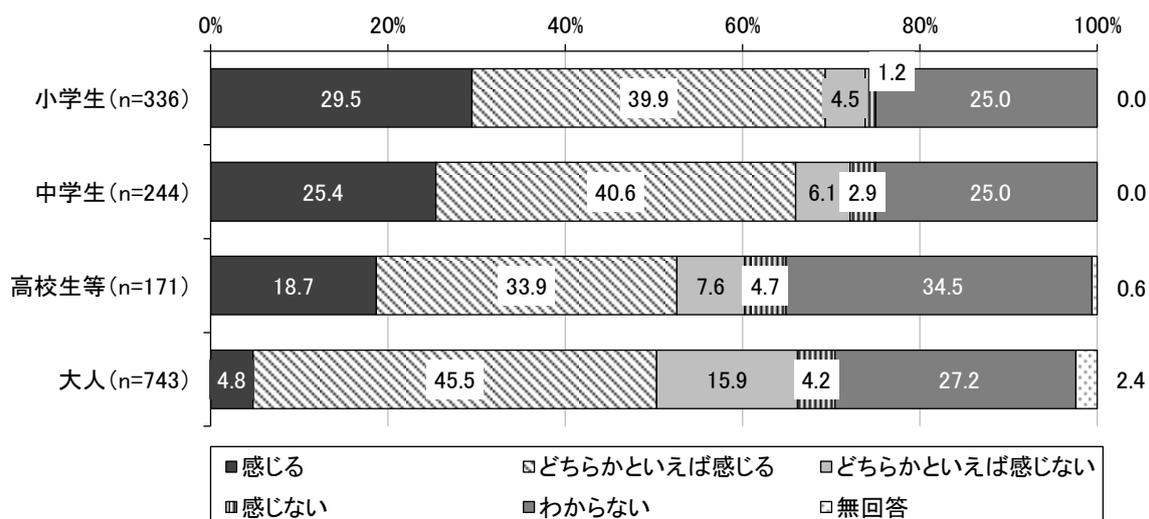
相談するときに大事だと思うことについては、大人と中学生で「相談内容の秘密を厳守してくれる」、高校生等で「匿名で（自分の名前を名乗らずに）相談できる」と「相談内容の秘密を厳守してくれる」、小学生で「問題の解決まで、専門機関と連携しながら支援してくれる（問題が解決するまで、しっかりと味方になってくれる）」がそれぞれ最も多くなっています。また、年齢が上がるにつれて「メール・SNSで相談できる」の割合が高くなる傾向にあります。さらに、「問題の解決まで、専門機関と連携しながら支援してくれる（問題が解決するまで、しっかりと味方になってくれる）」では高校生等が26.9%と他の調査に比べて割合が低くなっています。



■あなたは、普段の生活の中で、子どもの権利が十分に守られていると感じますか。(○は1つ)

普段の生活の中で、子どもの権利が十分に守られていると感じるかについては、“感じる”が大人で50.3%、高校生等で52.6%、中学生で66.0%、小学生で69.4%と、年齢が下がるにつれて“感じる”との回答が高くなる傾向にあります。

一方で、“感じない”が大人で20.1%、「わからない」が高校生等で34.5%と、それぞれ他の調査に比べて割合が高くなっています。



北本市子どもの権利に関する市民意識調査
報告書

令和5年3月発行

編集：北本市福祉部子育て支援課

〒364-8633

埼玉県北本市本町 1-111

TEL：048-591-1111

FAX：048-592-5997